

令和2年度 第4回 瑞穂市老人福祉計画策定・推進委員会

- ・日時 令和3年3月2日（火）13：30～14：30
- ・会場 瑞穂市総合センター 2階 交流ルーム

審議の概要

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) パブリックコメント結果の報告について
 - (2) 老人福祉計画（案）について
- 4 その他

- 1 開会 地域福祉高齢課長
- 2 あいさつ 健康福祉部長
- 3 議事

所会長

皆様こんにちは。大変な天気の中、皆様ご出席いただき、ありがとうございます。第4回という事で、本日が最終となります。一昨日に非常事態宣言が解除されましたが、型が変わり感染力がより強くなったという事もあります。解除されたからと言って、感染力が減少したという事はありません。今まで通りマスク着用、手洗い、三密を避けることは今後も続けていく必要があるでしょう。ワクチンについては様々な情報が出ていますが、細かく読んでみると、本数が全く足りません。毎日送られてきても、4500万本にしかならないという事です。一週間に50万本来るのでは何年かかるかという話になります。ファイザー製ワクチンの5月以降の生産量が増えるのではないかという事です。ヨーロッパから日本へ多く来るのではないかと期待しているようですが、全く分かりません。我々、医療従事者も3月中旬からという話がありましたが、現実問題として4月いっぱい470万人に打つうちの130万人分しか来ないという事です。4月中旬に3分の1しか打てません。我々が考えているのは、まず医者と看護師だけ打ち、薬剤師、歯医者、受付、介護従事者の方々はその後、ワクチンが届いてからと考えています。65歳以上の

方も一応4月から打つといっても、ほんのわずかです。0.0何パーセント程度の数です。6月中に全部と言っていますが、どうなるか分かりません。ワクチンが打てるまで、今まで通りの生活を続けられた方が良いと思います。以上であいさつとさせていただきます。

それでは始めます。本日、傍聴の希望者はいますか。

事務局 本日、傍聴希望者はいません。

所会長 ありがとうございます。それでは議事に入ります。

3 議事

(1) パブリックコメント結果の報告について

所会長 パブリックコメント結果の報告について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局より説明（パブリックコメントのご意見はありませんでした）

所会長 ありがとうございます。では次に参ります。

(2) 老人福祉計画（案）について

所会長 老人福祉計画（案）について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局より説明

所会長 ありがとうございます。今の説明に対し、何かご意見等ございますか。抜けていた所の追加や分かりやすくページを入れられた旨の説明がありました。

69ページの委員会名簿で間違いがないかご自身でご確認願います。

ご意見無いようですが、豊田委員何かございませぬか。

豊田委員 今のお話からは、意見はありません。私は地域福祉計画の公募委員もしています。その時も話題になりましたが、パブリックコメントのコメントが全くない、という事です。しかし、市民の皆さんがこういう事に興味が無いかと言えば、そうでもない気がします。パブリックコメント

を含めた行政側のPRが不十分という気がします。私も他でパブリックコメントをしました。パブリックコメントが本当に採用されるか疑問に感じます。また、全体の意見としては、老人福祉というものは非常に範囲が広く、それを4回の会議で全部を知ることができるかという、難しい気もします。可能であれば、もう少し細分化された形でもっと議論する場を作る必要があるのではないかと感じます。そうすることで、パブリックコメントだけではなく、いろいろな意見が出て、集約され、合意した中で、最終的に活字にして作っていただければと思います。

所会長 ありがとうございました。今日、事務局から説明があった内容についていかがでしょうか。

社協北川課長 計画を見て、市民の皆さん、行政、社会福祉協議会、いろいろ方が役割を担っていくという部分で、今後どこが担うかではなく、皆さんそれぞれ役割がある中で、できる範囲でやっていく事を計画で感じます。

所会長 ありがとうございました。他にご意見が無いようでしたら、この計画にご承認いただけるか伺いたと思います。ご承認いただける方は挙手を願います。

全員挙手

所会長 この計画案を認める事となりました。
今日で最後となりますので、ご意見を皆様からお伺いしたいと思います。

山本委員 シルバー人材センターは高齢者の元気な方が活躍してもらおうという立場で瑞穂市内にあります。各市町村にあります。瑞穂市は公益法人になって間が無いので、新しい事業にも取り組んでいますが、会員が少ないので市民の要望に応えられていません。この計画にもある、高齢者の粗大ごみを出すのを手伝ってほしいという要望、有料では行っていますが、まだまだそこまで手が回っていません。また、福祉計画は私たちも関心がありますが、知識も無いので、何か言われると福祉センターへ行って相談しなさいというケースで、そちらへお願いしています。これからは勉強して何かお役に立つことがあれば、協力したいと思います。よろしくお願い致します。

井桁委員

私は要支援と要介護の方に関わらせていただくことが多いですが、本計画のお話の中で、その方たちもボランティアなどの関わりに参加してくという視点があったことがとても新鮮でした。視点を変えられた事が良かったです。会員やボランティアさんの減少のお話があったので、ケアマネジャーの関わりの中でもそういう方たちが増えていくと豊かな生活になるのではないかと思います、関わらせていただきました。

玉城委員

計画を立てた後に、自分が委員として参加させていただいた後、自分が広めていく、伝えていく、この計画の内容を実践していくために、どうするかを共有して広めていく事ができなかつたと反省しています。今回、立てられた計画の中身を自分達でもう一度読みあつて、地域の中で何ができるかを考えていけたらと思います。また、高齢者の施設という立場から申し上げると、コロナ対策もあり、対応がコロコロ変わる、アンケートや調査が来たり、たくさんの書類に追われており、令和3年度が報酬改定の変り目でもあり、ばたばたしています。今回介護について、日本全体を見ると働く人が減少し、財源は減り、人口も減少します。介護の担い手もますます減っていきます。研修や制度でも、求められるものは高いものです。しかし、財源はありません。求められるものと現実の差がどんどん開いていくような気がしているので、もう少し現場の声をしっかりと届けていくという事を行いながら、高齢者の方が過不足の無いサービスを受ける環境を地域の中で作っていく事を真剣に考えながら、自分たちも進めていければと思います。

山本委員

老人クラブとしては、この計画の基本理念「誰もが楽しく生き生きと暮らせるまちづくり」というような標語を広報にも書き込んでいきたいです。福祉の健康という面でひとりでもいいから出歩くこと、体力をつける事、環境美化としてひとりでもごみ拾いを行い、子どもさんの目の前で拾っている所を見せ、老人も頑張っているということで、老人クラブとしては協力していきたいと思います。また、これだけ良い計画ができたので、若い世代へPRし、若い人たちにもこういう計画があるのだという事を知っていただきたいです。

小森委員

1点目。高齢者が増えていく中で、免許を返納される方も多くなっていくという事で、そのことについて様々教えていただきました。老人福祉計画内でも実施されているのは、高齢者タクシー助成です。買い物支

援も三地区でされていますが、今後増えていくと思います。高齢者のタクシー助成事業は以前、使い勝手が悪かったのですが、今回要件が緩和され、使い勝手が良くなりありがたいです。

2点目。ふれあいサロンを行っていますが、サロンをもっと充実させ、家に閉じこもりがちな方をどんどん引き出し、活動していく事も必要だと思います。そのあたりを重点的に進めていく必要があると思います。

豊田委員

私は生活支援ボランティアとしてちょっとつながりたいというボランティアグループに所属しています。コロナでご依頼が少ないです。今日も全く電話も無いという状況です。庭に雑草が生えてくるとご依頼もあると思います。昨年11、12月に年末の大掃除活動を行いました。前年よりも利用が多かったです。その理由はコロナ禍でもはがきを出して皆さんに告知をし、利用の電話をいただきました。こちらから動かないと電話も来ないし活動できません。引きこもっている人が多いので、いかにそういう人たちに出てきてもらうか、やり方を考える必要があります。データを参考に活動の幅を広げていきたいです。

吉田委員

瑞穂市老人福祉計画の本編は一般の方の手にも渡りますか。

事務局

冊子としては数に限りがあるので全市民に配ることはできません。ホームページ上でデータは載せますのでご覧いただくことは可能です。

吉田委員

地域包括支援センターの意味は分かりますが、50代くらいの一般の人は、介護の問題でどこの課に相談すればいいのか、地域包括支援センターが何たるかが分かりません。介護の時は岐阜市では冊子を見たことがあります、瑞穂市の冊子を見たことはありません。

池田委員

地域包括支援センターの池田です。地域包括支援センターの認知度が確かにまだまだ低いです。来年度から相談窓口をもう1か所設けるなどして、地域包括支援センターを若い世代にも知っていただけるように日々努めています、まだまだ至らない所です。地域包括支援センターや、穂積庁舎や巣南庁舎、老人福祉センターなどには介護保険の冊子等を常設しておりますが、そこに行けば手に入るという事もご存知ない方も多と思います。これからますますPRに努めて参りたいと思います。

地域包括支援センターですが、本計画にある基本目標の1から4、どれも全ての事業に当てはまるものです。引き続き現行事業の継続も含め、

新規事業にも積極的に取り組んで参りたいと思います。75 歳の方というとまだまだ見た目もお若いです。元気な方も非常に多いです。元気な 70 代 80 代の方にも積極的に参加いただける場づくり、担い手となっただけの場づくり、そういった活動にも今後、さらに取り組んでいきたいと思います。

牛嶋委員

私は今回こういう計画策定に初めて参加させていただきました。ひとつひとつの事に対して計画を立てていかれていると実感致しました。地域には 70 代 80 代の元気な方が多いです。地域の事を思って活動されている方もたくさんみえるので、そういう方々が活躍できるような場づくりを社会福祉協議会としてもこれから推進していけたらと思います。

飯沼委員

今年の福祉事務所で目立ったことはコロナの影響で高齢者からのご相談が多く、特に住居確保給付金の申請検査が非常に多かった 1 年でした。この制度は今までもありましたが、コロナで条件が緩和されたという事が影響していますし、実際にそういう方が増えてしまったという事で、年配の方、若い方、普通にご家族のあるような世帯の方でも申請が非常に増えており、それが継続しております。そういった中で、行政の行っている取り組みが普段なかなか知られていない所があります。今年のような世界的な大きな災害、そういうものがあって初めて知っていただけました。計画 16 ページ「あなたが知っている行政の取組について」という文言に対して、全て知らないという回答が一番多かったことに対し、市に限らず県もそうですが、行政の取組をもっと知っていただく仕組みが必要だと感じました。

中村副会長

この計画に関わらせていただく中で、私からはいくつかデータをお示ししながら、なぜ社会参加が必要なのかを説明させていただきました。今後 2 年の計画の評価にも携わっていかれる委員の皆様なので、まずは委員の皆様方が納得いく 2 年後であると、市民の方々がこの計画に納得のいく進捗になったのではないかと推測されます。まずは、皆様方が実際に自分に何ができるかをお話いただいたので、その中で評価ができていけば、よりいい計画の推進になると思います。他市町のデータを見て、他と比較する事で自分たちの町を一步引いて見てみることも大事です。そういった支援もできると皆様のお話を伺いながら思いました。

所会長

策定計画の根底にあるのは 2025 問題です。これは団塊の世代が後期

高齢者に入る年です。日本の経済状態を見ると、なるべく地元で近所の方や介護施設の方々の力を借りながら過ごしていただく事となります。一番心配しているのはコロナの問題です。外に出られずコロナ太りされる、1年以上外に出ていないと家にいる癖がついてしまい、外出しにくくなる事が一番心配です。人間は足から弱ります。夫婦で70歳までは旦那さんが奥さんの荷物を持ちますが、75歳超えると奥さんが旦那さんの荷物を持つようになると、よく言われます。75歳を超えると男性は急に筋力が弱くなります。フレイルはフランス語から来ており肉体的にも精神的にも全ての面で衰えて来ることをいいます。サルコペニアは足の力が弱る事です。筋繊維が少なく痩せてくると、歩行障害、歩行困難になります。女性はそれに骨粗しょう症が加わり、転ぶと骨折します。一番心配しているのは、今後も半年以上はコロナの事で勝手に外に出ることはできない状況が続きます。この1年、1年半の運動不足で、今後、高齢者の介護を受けなければならなくなる比率が上がらないか非常に心配しています。このような立派な計画もあくまでも目標、方向性です。これに命を吹き込むのは市を中心とした行動だと思います。それが2年先、皆さんが満足するようなものになっていればいいですが、高齢者に対してもう一度働きかけをしないと足腰の弱りが非常に強くなって、数年経って見たら立てない人が増えたという事になるのを心配しています。一層の行政等の働きかけ、委員の皆様がいらっしゃる団体での活動をより活性化していただければと思います。

総括を中村副会長よりお願いします。

中村副会長 今回皆様方からいただいたご意見の中で共通事項としては「社会参加」が大事だということ。また、今後生活上の問題が出て来るので、それにどう対処すべきかがここに書いてあるのではないかと、それをヒントに市民の方々に伝えていきたいという事をご発言いただきました。今後この計画が市民に届くようにする事、それが推進委員の役割だと思います。私も身を引き締めて行っていきたいと思っています。ありがとうございました。

所会長 私が与えられた議題は終了しましたので、事務局にお返しします。

事務局 1年間ありがとうございました。第8期の老人福祉計画を策定することができました。委員の皆様方におかれましては、まだ任期が続いてお

りますので、来年度以降はこの計画の進捗管理ということで、ご審議いただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。計画は、製本し委員の皆様のご自宅へお送りさせていただきますので、ご覧いただければと存じます。長きに渡りありがとうございました。

以上